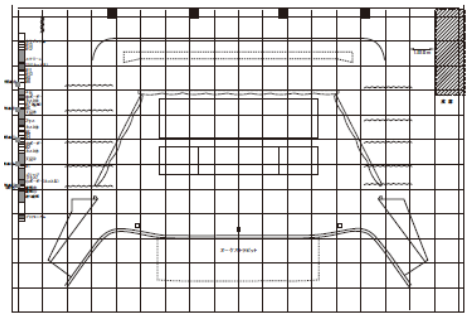
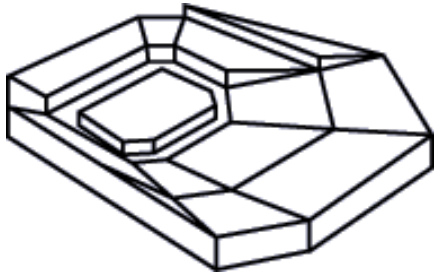
資料８

資料：ホールの規模と演目の関係

客席数	400	1000	1400	2000
客席数による区分	小ホール	中ホール	大ホール	
想定される演目と代表的な施設例	室内楽・ソロ		オーケストラ 兵庫県立芸術文化センター(2, 141)● 京都コンサートホール(1, 839)● ザ・シンフォニーホール(1, 704)● ●いずみホール(821)　びわ湖ホール(1, 848)●	
	ライブコンサート		ポピュラー音楽 兵庫県立芸術文化センター(2, 141)● 京都コンサートホール(1, 839)● びわ湖ホール(1, 848)●	
	バレエ・ダンス・舞踊			
	ミュージカル		グランドオペラ 兵庫県立芸術文化センター(2, 141)● びわ湖ホール(1, 848)●	
	オペレッタ			
	演　劇		商業演劇 宝塚大劇場(2, 550)● ●大阪四季劇場(1, 119)	
	寄席・能・日本舞踊・文楽 国立文楽劇場(753)●		歌舞伎 新歌舞伎座(1, 464)●	

資料：舞台・ホールの形式（機構）や特性と演目との関係

舞台・ホール形式	演 劇 用 ←→	多 目 的 ←→	音 楽 用
	（プロセニアム形式）	（プロセニアム形式＋可動音響反射板）	（エンドステージ形式：シューボックス型）
			
	びわ湖ホール（中ホール）	堺市民会館(大ホール)	ザ･シンフォニーホール
客席と舞台との距離	【近】 視認性や舞台との一体感を重視	視認性に配慮しながら客席数を確保	視認性や一体感への要求は緩やか 【遠】
残響音（音響）	【短】 セリフの明瞭度を重視	可動式の音響反射板による調整	生の楽器音に適した残響を重視 【長】
施 設 例	●宝塚大劇場 ●大阪四季劇場 ●シアターＢｒａｖａ！ ●大阪厚生年金会館（芸術ホール） ●びわ湖ホール（中ホール）	◎堺市民会館（大ホール） ◎ＳＡＹＡＫＡホール ◎浪切ホール ◎兵庫県立芸術文化センター（大ホール） ◎びわ湖ホール（大ホール）	○ザ・シンフォニーホール ○いずみホール ○京都コンサートホール